

見て 聞いて 観察レポート

先進地での学びを生かす

総務文教常任委員会 10月1日(水)~3日(金)

燕市も掛川市の取組みを参考に実施

静岡県掛川市…部活動の地域展開について

ポイント

燕市に先んじて部活動の地域展開を開始し、令和8年度には完全移行を予定している掛川市を視察しました。

視察を終えて

(* ウエルビーリングとは…身体的・精神的・社会的に良い状態にあること。)

「学校教育の一環」から「生涯学習の一環」へを掲げ、部活動の地域展開を考えるべきと感じました。

指導者バンクや地域クラブサポートセンターを創設し、地域クラブの公認などを推進していることも様々な受け皿を作るために必要な施策であると考えます。

また、アンケートでニーズや傾向性を把握したり、いろんな場面で会議体をつくり、丁寧に合意形成しながら地域展開を進めている印象を持ちました。部活動の地域展開では、課題が多い吹奏楽部も様々な協議を行い実働しているとのことです。

「持続性」「多様性」「公平性・包摂性」を重視し、単に学校教育だけにとどまらず、地域全体を巻き込み、活性化させていくという地域展開は学ぶところが多い状態です。これがうまく軌道に乗ると、地域全体での人材の交流と循環が生まれます。このような捉え方で



- 様々な対策をもって部活動の地域移行に取組んでいる掛川市
- ◆他の視察先
- ◆静岡県掛川市…新分水良寛史料館の基本構想策定に向けた公共施設の現状について
 - ◆静岡県三島市…防災対策について

市民厚生常任委員会 10月6日(月)~8日(水)

子供たちの笑顔があふれる社会をめざして

ポイント

子供たちが福島市で育つてよかつたと誇りを持ち、「子育てするなら福島市」と称されるよう、地域社会全体で子供と子育てを応援し、子供の笑顔があふれる社会の実現を目的に制定された「子どもの笑顔条例」の取組みを学ぶため、福島市を視察しました。

福島県福島市…子どものえがお条例の取組みについて

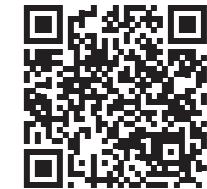
条例の概要として、「地域の人、事業者、保育園・幼稚園・学校、保護者、子、市」と6つに役割があり、この関係性を保ち、それぞれの可能性を発揮しながら「子育てするなら福島市」の目指すべき在り方を追求し取り組んでいます。

条例制定にあたっては、福島市が大震災や感染症の影響を乗り越え持続的に発展していくためには「子育てするなら福島市」と称されるまちになり、若い世代が集まり定着していくことが大切であるという背景がありました。

「子育てするなら燕市で」を掲げる本市でも、持続的な

燕市議会の3つの常任委員会は、燕市で抱えるさまざまな課題について課題解決のヒントを得るために、同様の問題を解決したり、成果が出ている他自治体や企業などの視察を行っています。

視察では、現場見学や意見交換を行うなど、先進事例を学び、一般質問などで課題解決に生かします。



視察報告の
詳細は
こちら

産業建設常任委員会 10月7日(火)~9日(木)

信用情報調査会社と連携し企業誘致へ

佐賀県鳥栖市…企業誘致の取り組みについて

ポイント

企業誘致の取り組みとして、帝国データバンクなど企業信用情報を有する調査会社に企業のリストアップを依頼し、立地意欲に関するアンケートの実施や、新たな産業団地「サザン鳥栖クロスパーク」開発を行っている鳥栖市を視察しました。

視察を終えて



その他の視察先

- ◆福岡県福津市…空き家対策について
- ◆福岡県大牟田市…イノベーション創出促進事業について
- ◆福岡県糸島市…移住定住の取組みについて



福島市では笑顔あふれるまちづくりに取り組んでいる